



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,563 世帯
人口 10,775 人
男 5,411 人
女 5,364 人
(令和3.3.1 現在)

笹賀地区

子ども安全サポーター活動中!

子ども安全サポーターは、子どもたちの登下校の時間帯に(散歩をしながら、農作業をしながら、お買い物の時、庭掃除をしながら...)、通学状況を見守り・声掛けをしています。また、地域の安全環境にも目を配り、学校・交番等への情報提供と情報共有を行い、見守り活動に活かしています。

人が登録し、小中学校通学区内において積極的な活動を展開しています。スタート時より今日まで継続している人も多数います。

発足時に組織の代表を務め、活動を続けながら安全に関する情報発信もしている下二子在住の高橋 昌子さんは、活動への想いを次のように語っていました。



高橋 昌子さん
(下二子)



活動スタート時(平成18年5月)には、97人が登録しました。最盛期には127

『下校時に、まとまって帰る児童たちに声掛けをする』と、反対に「ごくろうさまです!」と、こちら側が元気をもらう事になり、安全サポーター歴15年の私が励まされています。』



安全サポーターの皆さんが天候に関わらず毎日のように通学路に立ち、子どもたちの安全を見守っている姿に頭の下がる思いです。

全員の紹介をしたいところですが、以下に一部の方のメッセージを紹介します。



北原 透さん
(神戸)

『昨年は、笹賀地区安全サポーター組織が発足して、15年の節目の年でした。組織・活動方針が整備され、リストアップしました。地域での見守り、登下校の見守り活動を通して、児童の健全育成に努めていきたいと思っています。』



高山 勝良さん
(菅野)

『7時過ぎの「おはようございませう、行つてらっしゃい」の声掛けが一日の始まり。子どもたちを見ると自然に止まるドライバー、頭を下げる子どもたち、さわやかなマナー

と子どもたちの笑顔にふれて明日への活力をもらっています。』



大丸 由美さん
(下小俣)
の愛犬もっくん

『犬のもつくと散歩がてらのサポーターです。もっくんの頭や体をなでていつてくれる子、学校であったことや、今日の行事を話していつてくれる子、いろいろなみんなとの出会いが、朝のほんの短い時間の楽しみです。』



奥原 俊彦さん
(上二子)

『平成22・23年と上二子町会長に就任した時、「ほのほのと声を掛け合う町づくり」をスローガンに掲げ、その一環として、子どもたちを地域で育て、地域で守るをモットーに、今も登下校の見守り

を続けています。その想いを詠みました。』

下校時の
子等を見守り6000歩
感謝されどもわが身のために



現在、安全サポーターはボランティア組織として事務局を笹賀公民館に置き、協働運営として子ども会育成会が組織参加する形態となっています。

今後の活動については、「安全サポーター活動見守り委員会」を置き、ボランティアの皆さん、子ども会育成会、笹賀公民館が一体となり、より良い活動を目指していきます。



スポーツ大会結果

毎年恒例の『第36回笹賀地区町内公民館対抗卓球大会』『西南ブロックゲートボール大会』ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ともに中止の判断となりました。

空港図書館 おはなしひろば

空港図書館では、毎月第2水曜日午前11時から未就園児親子を対象とした絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。通常回は5組ほど、スペシャル回は30組ほどの親子が参加して、おはなしの世界を楽しんでいます。

15年以上続いているおはなしひろばですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止となった回もありました。普段は図書館の会議室で行っているおはなしひろばですが、感染状況が落ち着いていた秋頃には、屋外の木陰での読み聞かせを感染対策も行いながら初の試みとして行いました。



心地よい風が吹く木陰で

空港図書館職員の中野弥記子さんにお話を聞きましした。『空港図書館のおはなしひろばは、読み聞かせサークルや図書館ボランティアの方々にもご協力いただいでいて、絵本や紙芝居、手あそびなど、

プログラムも充実しています。屋外での読み聞かせは、前々から企画はあったのですが、感染対策にもなるためと、初めて開催してみました。参加者の皆さんからの評判も良く、こどもたちも開放的で楽しく楽しめるようです。天気の良い日には今後も開催していきたいと思っています。』



『春』の絵本 どれにしようかな？

こどもたちは、自分の知っている動物やキャラクターが出てくる絵本や歌で大喜びです。いまはみんなで手をつないだりはできませんが、お母さんたちの膝の上で手あそびを楽しんでいました。おはなしひろばで紹介した絵本は家でも楽しめます。

空港図書館は、信州スカイパークの中にあります。お近くに寄った際には、ぜひ空港図書館に足を運んでみませんか。

空港図書館

☎86-8460

開館時間：火～日曜日
午前10時～午後5時

空港図書館HP

さんぽみち

城山公園から見る夜明けの風景はすばらしい。

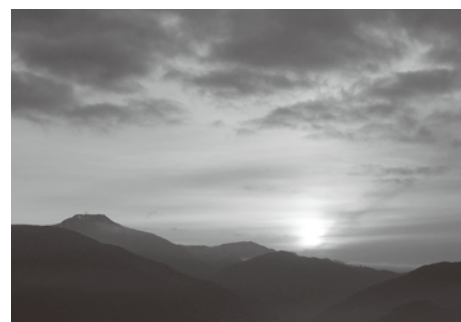
まだ暗いうちは、ビルなどの建物の光や道路を走る車の光など、近くで見るとは全く違う感動的だ。しかし星空はそんなにきれいには見られない。やはり街の明かりなどが明るすぎるのか。

東の空が明るくなってくると、景色は大きく変わりは始める。美ヶ原をはじめ、東の山々にかかる雲が赤く染まり、特に太陽が昇るところは強くきれいに染まる。特にこの日は、形が変わった大きな雲が赤く染まった。これにはビックリ、

とても感動した。

そして西を見ると大好きな常念岳が正面に見え、右側には遠く北アルプスの山々が浮かびあがる。左側には山並みの間からこれまた大好きな乗鞍岳もきれいな顔を見せる。実際にはとても短い時間だが、それらが赤々ときれいに染まる。本当に幸せなひと時だ。

太陽がしっかりと顔を出してくると、松本平全体が見えてくる。まだ薄らと赤みがのこる山並みの下に広がる松本平は、昼間見る景色とは違った美しさがある。



不定期連載 交通コラム① 今、止まりましたか？

車を運転していて、前方に横断歩道を渡ろうとしている人がいます。これは歩行者優先ですので、手前で減速や停止する義務があります。

もし歩行者が信号無視など、交通ルールに反して横断していたら……これは事故になってしまふので、回避しなければならぬ。急ブレーキ

キになるととても危ない。

道路を歩いていて、横断歩道の無い道を渡りたい時、車の流れが切れるのを待ちますね。でもなかなか切れない。急いでいるのに、どうして渡らせてくれないんだろう？

道路を渡る時には意思表示が必要ではないでしょうか。車の側も「渡りたい」とはっきりわかれば安全に止まることが可能です。

「手を上げて、横断歩道を



渡りましょう」この言葉をテレビで聞かなくなつてから、歩行者と運転者の意思の疎通が不足しているように感じます。まずはちよつと手を上げてみませんか？運転者も止まって「どうぞ」と合図してみましよう。